50CA10p.p./OY 15-5 STEREO POWER AMPLIFIER MODEL MQ60 ￥62,000

LUXMAN 60

本機は，出力管にステレオ・プリメインアンプＳＱ38Ｆと同じ，３極管の50Ｃ Ａ10を使ったステレオ用のパワーアンプです．出力は，チャンネル当り30Ｗが得られます．基本的な回路および使用部品は，ＳＱ38Ｆのメイン部に準じますが，独立したパワーアンプに仕上げるために，細部には改良がほどこされています．この種のパワーアンプは，弊社としても初めてのものですが，同時に管球式アンプの究極であろうかと思います．

３極管の自然で密度の高い，しなやかな音質がまず本機の魅力ですが，視覚的にもその重厚でコクのある意匠が管球愛好家を魅了することになるでしょう．内容がそのまま姿として現われている，こうしたアンプこそ，もっともオーディオ的な存在といえます．この種のオーディオ的製品が，今日では貴重なものとなりはじめています．なお，このアンプには，未配線のキットも，とくに真空管を愛する自作マニアのために用意されています．

——ＫＭＱ60　￥46,000——

〔回　路〕

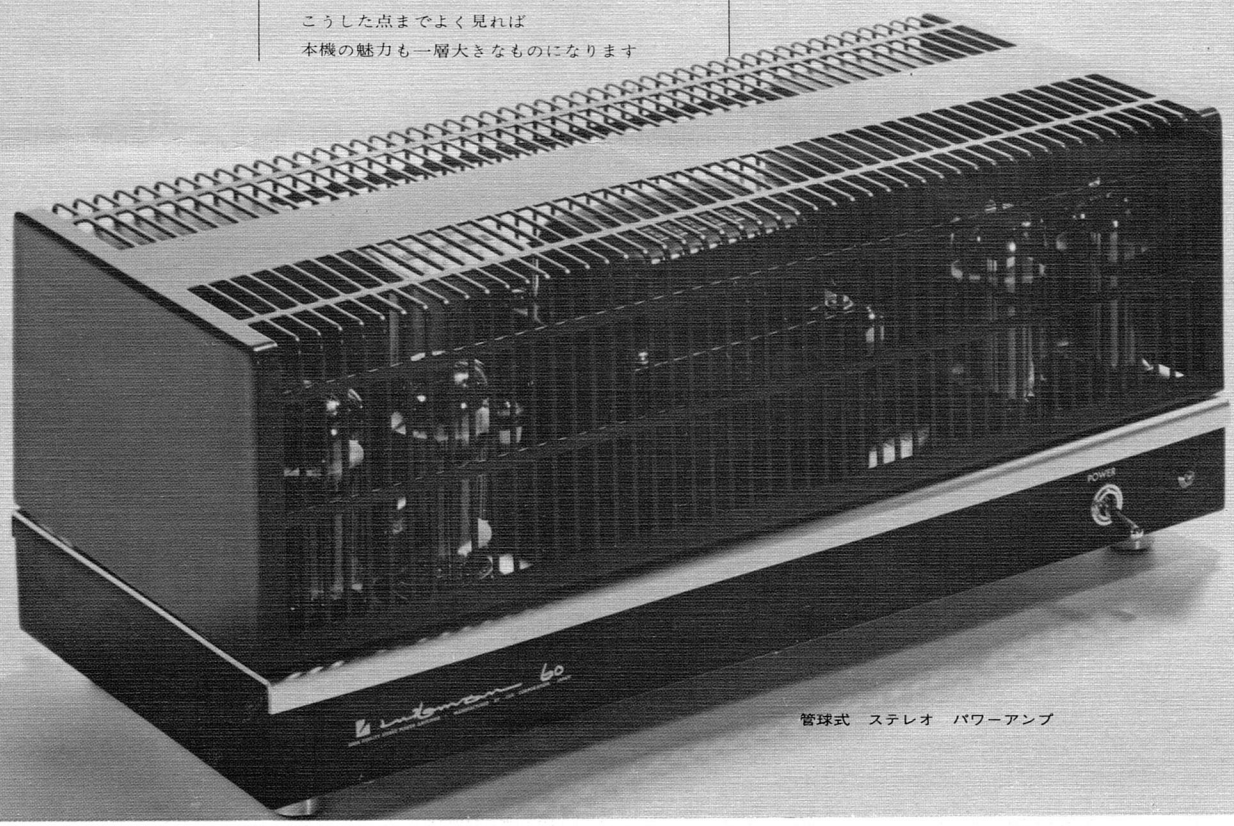
ムラード型の回路を基本にしていますが
この回路の特長をフルに生かすため
初段の電圧増幅段に低内部抵抗の球を使い
高域の特性を改善しています
ここには**6267**を**３極管接続**で使いました
これに関連して
位相反転段にHigh Gmの**６ＤＴ８**を使い
この段で利得をかせいでいます
出力段には
３極管の**50ＣＡ10**を採用していますから
一応，全段に３極管が揃ったことになります
上記のような配慮から
ＡＣバランスがとりやすくなり
初段の歪みも押えられています
回路をご覧になればお分りのように
出力トランスの２次側に
位相補整回路が挿入されていますが
これは
スピーカのインピーダンスが上昇する高域で
負荷の減衰から（無負荷に近くなる）
アンプが不安定になるのを防いでいます
このほか
コントロールアンプなどの入力からの
インピーダンスの影響を避ける目的から
初段のグリッドに
バッファー抵抗を挿入したり
ボリウムの変化によって生じる
周波数特性の浮動を押えるための配慮など
芸の細かい仕上げがみられます
こうした点までよく見れば
本機の魅力も一層大きなものになります

〔性　能〕

連続出力は，**４Ω，８Ω，16Ω**の
いずれの負荷でも，**30Ｗ／30Ｗ**が得られます
最大出力時の歪率は**0.3％以下**
１Ｗ出力時では**0.1％以下**です
周波数特性は**15Ｈｚ～60,000Ｈｚ**の間が
－１ｄＢ以内に納まっています
ＳＮ比は**90ｄＢ以上**
残留雑音は**0.7ｍＶ以下**
ダンピングファクターは**約15**（１ＫＨｚ）
負荷インピーダンスの選択は
切換スイッチで行います

〔機　構〕

プリメインを一体として考えるのと
メインだけを独立させるのとでは
回路的にもそうですが
デザイン的にも
若干その狙いが異なります
とくに管球式のメインアンプの場合
球のほのかな明りを
見て楽しむということもあるでしょうから
仕上げも念を入れることが必要です
シャーシーは
アルミのヘアーライン加工シルバー仕上げに
全体をダークグレイの半つや塗装とし
重厚な意匠に仕上げています

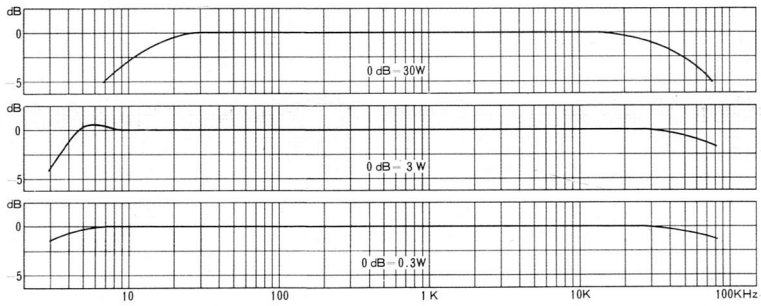


管球式　ステレオ　パワーアンプ

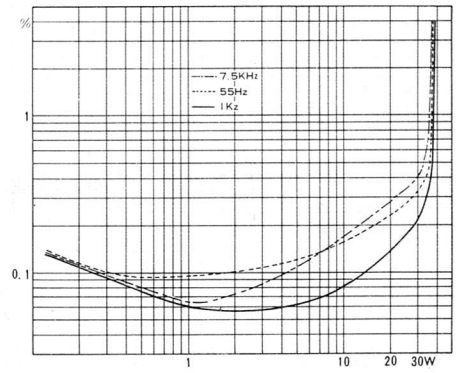
■規　格

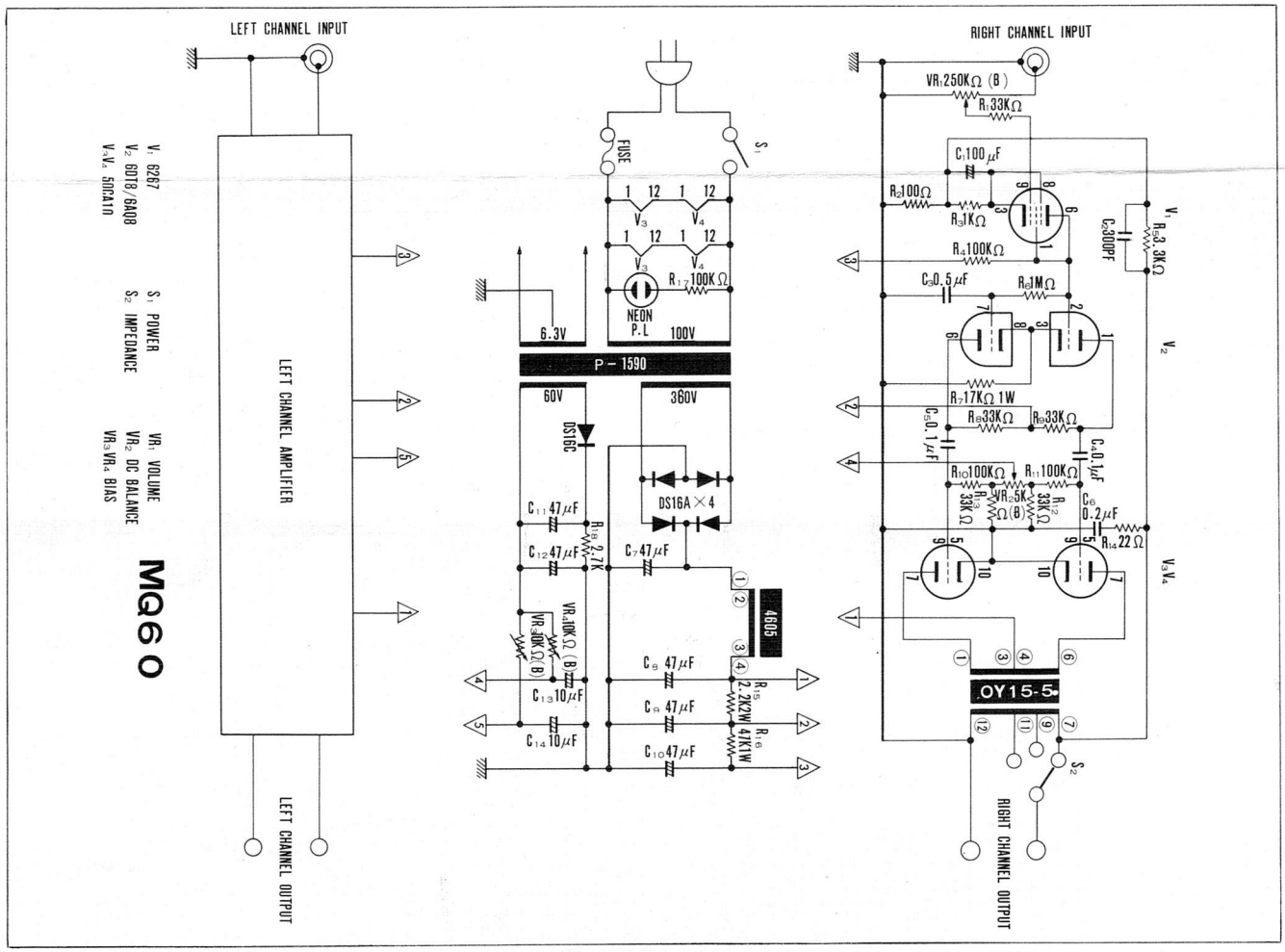
使用真空管	50CA10(4) 6DT8/6AQ8(2) 6267(2)
使用半導体	DS16A(4) DS16C(1)
連続出力	30W/30W (4, 8, 16Ω)
全調波歪率	0.1%(1W出力時) 0.3%(最大出力時)
周波数特性	15Hz～60,000Hz(－1dB以内)
S　N　比	90dB以上
残留雑音	0.7mV以下
ダンピングファクター	約15(1,000Hz)
負荷インピーダンス	4Ω, 8Ω, 16Ω(スイッチ切換)
外形寸法	410(幅)×205(奥行)×160(高)mm
重　量	13.8kg

周　波　数　特　性



歪　率　特　性





お求めは誠実な当店で

テクニクス株式会社

本社・工場　大阪市西成区長橋通2－22　☎(06)632－0031(代)
支社・試聴室　東京都台東区東上野2丁目18共同ビル10階　☎(03)833－7691(代)
九段営業所　東京都千代田区神田神保町3－4　☎(03)264－2546(代)
福岡営業所　福岡市博多駅前2丁目19番博多相互ビル4階　☎(092)43－7528

※規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。